

樫山純三賞 要綱

1. 趣旨

財団法人樫山奨学財団は、樫山純三が昭和 52 年（1977 年）に意欲ある社会有用な人材の育成を目的に設立した奨学財団であり、これまで累計約 2000 名の資質優秀な学生に対する奨学援助の事業活動を行ってまいりました。

この賞は、2006 年度に財団設立 30 周年を記念して、設立者樫山純三の遺志を現代に生かすものとして新設した賞です。樫山純三は、財団設立趣意書にありますように「国際経済社会の情勢を的確にとらえ、それらに対処できる有能な人材を一人でも多く育成する事が今まで以上に要請されてくる」と考えておりました。国際的視野に立った社会科学の優れた業績の著者を表彰し、その業績を一層広く世に知らしめることを通じて、上記のような人材育成に資することを目的にしております。

2. 表彰の対象・資格

- (1) 21 世紀初頭における国際経済社会の安定と進化にとって、アジアの共生が大切であることに鑑み、社会科学（政治、経済、社会等）の分野の現代アジア研究における独創的で優れた業績の著者へ授与します。
- (2) 審査対象とする業績は、平成 20 年（2008 年）4 月から、平成 21 年（2009 年）3 月末までに日本国内で発行された、現代アジアに関する研究書。（なお現代とは、20 世紀初頭より今日までとします。）
- (3) 候補者の国籍、年齢は問いません。

3. 樫山純三賞の内容

原則として、毎年 2 件とし、1 件につき賞状および副賞（賞金 100 万円）を贈呈します。

また、柵オンワードホールディングスよりオンワード賞（高級スーツ）が贈呈されます。

4. 推薦および応募方法

- (1) 推薦ならびに自著の応募とします。（自著を応募する場合には、対象図書を添付してください。）

(2) 推薦・応募 締切期日

平成 21 年 (2009 年) 6 月 21 日 (日)

5. 選考方法

授賞対象について下記委員からなる審査委員会が審査・決定します。

審査委員

山田 辰雄 (前放送大学教授・慶應義塾大学名誉教授)
平野 健一郎 (前早稲田大学教授・東京大学名誉教授)
渡辺 利夫 (拓殖大学学長・東京工業大学名誉教授)
唐木 園和 (帝京平成大学教授・慶應義塾大学名誉教授)
波多野 優子 (財団法人樫山奨学財団評議員・選考委員)

6. 選考結果の通知

選考結果は平成 21 年 9 月中旬、推薦者および応募者に対して文書により通知します。

7. 第 4 回樫山純三賞の贈呈式

受賞者に対する贈呈式は、

平成 21 年 11 月 10 日 (火) ホテルニューオータニ にて行います。

(ご多忙な時期で恐縮ですが、式には受賞者ご本人が必ず出席くださるようお願い致します。)

8. 注意事項

(1) 黒インク、または黒ボールペンで記入してください。

(ワンプロ使用可)

(2) 提出された書類および図書は、原則として返却いたしませんのでご了承ください。

9. 推薦書・応募図書 送付先

財団法人 樫山奨学財団

〒103-8239 東京都中央区日本橋 3-10-5

Tel (03) 3272-2336

E-mail : kashiyama-sf@k7.dion.ne.jp